



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 ホシザキ株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 6465 URL <http://www.hoshizaki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 靖浩
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員(経理部担当) (氏名) 関 隆一郎 TEL 0562-96-1112
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	331,263	17.4	42,934	20.7	47,550	9.6	30,589	1.9
2023年12月期第3四半期	282,154	18.0	35,577	54.7	43,380	13.2	30,016	14.3

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 34,110百万円(△38.1%) 2023年12月期第3四半期 55,141百万円(△2.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	212.21	—
2023年12月期第3四半期	207.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	513,834	353,932	65.7	2,359.66
2023年12月期	465,361	332,937	70.6	2,267.49

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 337,404百万円 2023年12月期 328,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	30.00	—	65.00	95.00
2024年12月期	—	45.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	50.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	15.1	48,500	11.4	54,000	7.3	34,000	3.5	236.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日（2024年11月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 3社 （社名）Oztiryakiler Madeni ESYA Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketi、TECHNOLUX EQUIPMENT AND SUPPLY CORPORATION、HKR EQUIPMENT CORPORATION、除外 1社 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 3 Q	144,890,100株	2023年12月期	144,875,900株
② 期末自己株式数	2024年12月期 3 Q	1,901,729株	2023年12月期	3,182株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 3 Q	144,148,280株	2023年12月期 3 Q	144,866,772株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(財務報告の枠組みに関する注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(連結範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(会計上の見積りの変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、物価の上昇や企業における賃上げ幅の上昇、日銀の金利政策にも変化があった中で、日経平均株価が史上最高値を記録するなど、景気の緩やかな回復基調が続いています。また円安もあり、インバウンドについては過去最高の水準を継続しています。

海外では、米国の景気の底堅さや一部の国を除いてインフレが鈍化傾向にあるものの、欧州や中国の景気停滞、中東地域の情勢懸念の継続など景気先行きの不透明さは増しており、10月発表のIMF世界経済見通しでは、2024年の経済成長率は+3.2%と前回予想(+3.2%)から据え置かれています。

このような環境下、当社グループは、国内では飲食市場及び宿泊施設や流通販売業、病院・福祉施設等の飲食外市場への拡販に注力いたしました。海外では、需要の継続に対しての製品供給に注力するとともに、収益性の改善にも努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,312億63百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益は429億34百万円（同20.7%増）、経常利益は475億50百万円（同9.6%増）、特別損失として段階取得に係る差損を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は305億89百万円（同1.9%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しております。以下の前年同期との比較については、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組替えた数値で比較しております。詳細は、「注記事項（セグメント情報等の注記）」をご参照ください。

①日本

日本におきましては、深掘りを進める飲食市場、積極的な開拓を進める飲食外市場に向け、ノンフロン自然冷媒を使用した冷蔵庫、製氷機や、食器洗浄機等主力製品を中心とした拡販を実施いたしました。特に飲食・サービス業界においては、原材料費や人件費等のコストアップ、人手不足の深刻化等は継続しているものの、インバウンドの回復等を受け高まっている設備投資需要への対応に注力いたしました。この結果、売上高は1,736億36百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は256億47百万円（同22.2%増）となりました。

②米州

米州におきましては、競争環境が厳しくなる中、製造面での生産性向上や顧客開拓・関係強化等に注力しながら、製氷機、ディスプレイ、食器洗浄機等の拡販に努めました。この結果、売上高は809億83百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益は91億10百万円（同20.8%増）となりました。

③欧州

欧州におきましては、グループ会社間の連携強化等にも注力しつつ、主力製品である製氷機、冷蔵庫等の拡販に努めました。一方、トルコにおける超インフレ経済下による利益への影響等を受けた結果、売上高は398億5百万円（前年同期比92.6%増）、セグメント利益は26億26百万円（同8.6%減）となりました。

④アジア

アジアにおきましては、インドを中心に、冷蔵庫等の販売が堅調に推移しました。この結果、売上高は462億18百万円（前年同期比30.4%増）、セグメント利益は76億18百万円（同39.2%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ484億73百万円増加し、5,138億34百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ67億95百万円増加し、3,709億40百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産、商品及び製品、原材料及び貯蔵品が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ416億78百万円増加し、1,428億94百万円となりました。主な要因は、有形固定資産、のれんの増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ274億78百万円増加し、1,599億2百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ210億7百万円増加し、1,256億46百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金、短期借入金、賞与引当金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ64億70百万円増加し、342億56百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ209億95百万円増加し、3,539億32百万円

となりました。主な要因は、自己株式の取得による純資産の減少があったものの、利益剰余金、非支配株主持分が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、2024年2月13日に公表した2024年12月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年11月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	254,530	232,125
受取手形、売掛金及び契約資産	52,026	68,350
商品及び製品	19,962	28,949
仕掛品	7,324	8,336
原材料及び貯蔵品	24,977	27,621
その他	5,873	6,949
貸倒引当金	△549	△1,392
流動資産合計	364,145	370,940
固定資産		
有形固定資産	53,034	73,969
無形固定資産		
のれん	9,382	22,922
その他	8,974	14,946
無形固定資産合計	18,357	37,869
投資その他の資産	29,823	31,055
固定資産合計	101,215	142,894
資産合計	465,361	513,834
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,308	34,416
短期借入金	806	5,731
未払法人税等	5,952	7,694
賞与引当金	3,855	10,177
その他の引当金	3,273	3,293
その他	60,442	64,333
流動負債合計	104,638	125,646
固定負債		
退職給付に係る負債	21,451	22,517
その他の引当金	1,780	2,203
その他	4,554	9,535
固定負債合計	27,785	34,256
負債合計	132,424	159,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,098	8,138
資本剰余金	14,620	14,660
利益剰余金	274,766	288,980
自己株式	△8	△10,008
株主資本合計	297,476	301,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216	229
為替換算調整勘定	32,038	36,417
退職給付に係る調整累計額	△1,233	△1,013
その他の包括利益累計額合計	31,021	35,633
非支配株主持分	4,439	16,528
純資産合計	332,937	353,932
負債純資産合計	465,361	513,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	282,154	331,263
売上原価	178,542	204,131
売上総利益	103,611	127,131
販売費及び一般管理費	68,033	84,197
営業利益	35,577	42,934
営業外収益		
受取利息	3,403	3,730
為替差益	5,139	1,133
正味貨幣持高に係る利得	—	595
その他	435	931
営業外収益合計	8,979	6,390
営業外費用		
支払利息	60	1,145
持分法による投資損失	899	—
その他	217	627
営業外費用合計	1,177	1,773
経常利益	43,380	47,550
特別利益		
固定資産売却益	19	35
投資有価証券売却益	34	88
特別利益合計	54	123
特別損失		
段階取得に係る差損	—	2,558
その他	27	47
特別損失合計	27	2,605
税金等調整前四半期純利益	43,407	45,068
法人税、住民税及び事業税	15,817	16,428
法人税等調整額	△3,023	△2,288
法人税等合計	12,793	14,139
四半期純利益	30,613	30,928
非支配株主に帰属する四半期純利益	597	338
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,016	30,589

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	30,613	30,928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	13
為替換算調整勘定	21,942	3,207
退職給付に係る調整額	186	220
持分法適用会社に対する持分相当額	2,257	△258
その他の包括利益合計	24,527	3,181
四半期包括利益	55,141	34,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,144	35,201
非支配株主に係る四半期包括利益	996	△1,091

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(財務報告の枠組みに関する注記)

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式1,898,300株（9,999百万円）の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が10,008百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(連結範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であったOztiryakiler Madeni Esya Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiを株式の追加取得により連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間において、TECHNOLUX EQUIPMENT AND SUPPLY CORPORATION及びHKR EQUIPMENT CORPORATIONを株式の新規取得により連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であったOztiryakiler Madeni Esya Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiは、連結の範囲に含めたため、持分法適用の範囲から除外しています。

また、新たに株式の一部を取得したFogel Company Inc. を持分法適用の範囲に含めております。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

「欧州・アジア」は両地域共に量的な重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「欧州」「アジア」それぞれ独立して表示する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の表示方法により作成したものを記載しております。

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
製氷機	13,525	29,030	14,497	4,785	61,838	—	61,838
冷蔵庫	39,685	5,856	3,434	24,945	73,921	—	73,921
食器洗浄機	10,838	7,593	—	129	18,561	—	18,561
ディスペンサ	4,509	18,715	60	395	23,681	—	23,681
他社仕入商品	29,545	783	—	239	30,568	—	30,568
保守・修理	35,223	8,777	1,177	1,751	46,930	—	46,930
その他	22,016	1,762	462	2,081	26,322	—	26,322
顧客との契約から 生じる収益	155,343	72,521	19,632	34,328	281,825	—	281,825
その他の収益	328	—	—	—	328	—	328
外部顧客への売上高	155,672	72,521	19,632	34,328	282,154	—	282,154
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,776	625	1,040	1,103	7,545	△7,545	—
計	160,448	73,146	20,672	35,432	289,699	△7,545	282,154
セグメント利益	20,990	7,538	2,874	5,474	36,878	△1,300	35,577

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,300百万円には、のれんの償却額△470百万円、無形固定資産等の償却額△539百万円、棚卸資産の調整額△307百万円、その他セグメント間取引の調整額17百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
製氷機	15,418	31,022	16,174	4,584	67,199	—	67,199
冷蔵庫	42,191	6,680	5,666	31,104	85,643	—	85,643
食器洗浄機	12,769	8,536	2,288	222	23,816	—	23,816
ディスプレイ	4,633	23,108	33	811	28,586	—	28,586
他社仕入商品	29,471	770	—	3,277	33,519	—	33,519
保守・修理	36,906	8,382	1,486	2,303	49,078	—	49,078
その他	26,203	1,922	12,508	2,448	43,083	—	43,083
顧客との契約から 生じる収益	167,594	80,423	38,157	44,751	330,927	—	330,927
その他の収益	335	—	—	—	335	—	335
外部顧客への売上高	167,930	80,423	38,157	44,751	331,263	—	331,263
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,705	560	1,647	1,466	9,380	△9,380	—
計	173,636	80,983	39,805	46,218	340,644	△9,380	331,263
セグメント利益	25,647	9,110	2,626	7,618	45,002	△2,068	42,934

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,068百万円には、のれんの償却額△954百万円、無形固定資産等の償却額△1,372百万円、棚卸資産の調整額223百万円、その他セグメント間取引の調整額34百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「アジア」において、HOSHIZAKI SOUTHEAST ASIA HOLDINGS PTE. LTD. は第2四半期連結会計期間に、TECHNOLUX EQUIPMENT AND SUPPLY CORPORATION及びHKR EQUIPMENT CORPORATIONの株式を取得し、連結子会社化しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は17,835百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であったOztiryakiler Madeni Esya Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiを株式の追加取得により連結子会社化し、暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、暫定的に計算されたのれんの金額10,584百万円は5,738百万円減少して4,846百万円となっております。

第2四半期連結会計期間において、TECHNOLUX EQUIPMENT AND SUPPLY CORPORATION及びHKR EQUIPMENT CORPORATIONを株式の新規取得により連結子会社化したため、のれんが9,354百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	4,913百万円	6,401百万円
のれんの償却額	508	996

(重要な後発事象の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年11月12日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款34条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実と資本効率の向上により更なる企業価値向上を図るため。

(2) 取得に係る事項の内容

①取得対象株式の種類

当社普通株式

②取得し得る株式の総数

2,500,000株（上限）

（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.7%）

③株式の取得価額の総額

10,000百万円（上限）

④取得期間

2024年11月14日～2025年2月28日

⑤取得方法

東京証券取引所における市場買付